

(第3号様式)

温室効果ガス排出量報告書

太線内は、自動で数値が計算されます。

1 排出量実績 (CO₂換算)

基準年度の排出量 ① (平成17年度以降の任意の年度)	排出量実績 ② (申請時は前年度実績(又は過去5か年度の平均)) (更新時は過去5か年度の平均)					削減率 ((①-②)/ ①) ×100	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度
t-CO ₂ /年	(平均)					t-CO ₂ /年	%

(注) 下表の原単位あたりの排出量を評価指標にして比較する場合も、上欄の排出量は必ず記入してください。

※ 原単位あたりの排出量を評価指標にして比較する場合は、以下の欄も記入してください。(任意選択)

原単位の指標	
--------	--

原単位あたり基準年度の排出量 ① (平成17年度以降の任意の年度)	原単位あたり排出量実績 ② (申請時は前年度実績(又は過去5か年度の平均)) (更新時は過去5か年度の平均)					削減率 ((①-②)/ ①) ×100	
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度
	(平均)						%

2 排出抑制に係る主な取組内容 (量が多い場合は別添でも構いません)

<備考>

- 別紙(温室効果ガス排出量計算書)を使用して排出量を計算し、その数値を記入してください。(この様式に別紙を添付して提出してください。)
- 市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例に基づく「地球温暖化対策計画書」の届出事業者の方は、市へ実績として報告した排出量を「排出量実績②」へ記入しても構いません。その場合、「基準年度の排出量①」は、「排出量実績②」の計算で使用した排出係数(温室効果ガスの排出量をエネルギー使用量から換算する係数)で算出した数値を記入してください。
- 「排出量実績②」は、新規申請時には申請年度の前年度実績(又は前年度以前5か年度の実績及びその平均実績)を記入してください。更新時には更新する年度の前年度以前5か年度の実績及びその平均実績を記入してください。
- 基準年度は、新規申請時に設定した年度をその後も継続して基準年度とします。
- この報告書で排出量の計算に使用する排出係数は、「地球温暖化対策計画書」の届出制度で使用している排出係数とします。また、「基準年度の排出量①」は、申請(更新)時に「排出量実績②」の計算に使用した排出係数で算出するものとします。